

このバージョンの新機能

このトピックでは、以前のバージョンでは使用できなかった、Server Configuration Manager 2021.1 に新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。

バージョン番号の変更

他の Innovyze 製品と整合を図るため、バージョン番号が変更となりました。このバージョンは 2021.1 となります。以前のバージョン番号では、11.5 に相当します。

Thales ライセンス

サーバーに用いるライセンスとして Thales タイプを選択できるようになりました。このタイプのライセンスを構築するには、[ライセンス](#) ページを選択し、**InfoWorks ICM License** フィールドにて **Thales** オプションを選び、**Computer name or IP address** フィールドにてネットワークライセンスサーバーの名前か IP アドレスを指定します。※

※このライセンスの詳細については、開発元に確認中となります。詳細が判明次第、ご案内させていただきます。

ワークグループマスターデータベースグループ

ワークグループマスターデータベースをグループに割り当てることができるようになりました。ワークグループデータベースを作成する際や開く際に[マスターデータベースを開く](#) ダイアログにて **新規** ボタンをクリックすると、[新規マスターデータベース](#) ウィンドウが表示され、以下の操作が可能となりました：

- マスターデータベースを割り当てるグループの選択、あるいは新規作成
- 新規データベースに対する名前の定義

[マスターデータベースを開く](#) ダイアログに新しく **グループ** フィールドが追加され、既に定義されているグループの一覧から特定のグループを選択することが可能となっています。グループを選択すると、**データベース** フィールド内のドロップダウンリストの項目は、選択されたグループに割り当てられているマスターデータベースの名前のみへと制限されます。

ワークグループマスターデータベースを設定するには、そのデータベースを保存するマシン上にワークグループデータベースソフトウェアをインストールし、そのサーバープログラムを Windows のサービスとして実行する必要があります。